陶器考

坤

842
43

国立国会図書館　タイトル『陶器考』　請求記号 842-43

ガラス使用

陶器考

附録 坤

842
43

国立国会図書館　タイトル『陶器考』　請求記号 842-43

ガラス使用

客歳諸蛮国ノ陶器ヲ分鑑シテ一巻トナシ此ヲ同志ニ告ク幸ニ誤ヲ正シ及サルヲ告ル者アリ依テ更ニ校正ヲ加ヘ副ルニ

根岸信輔氏寄贈

曽山文庫

本邦国々古今陶スル所ヲ挙茶具ニ入トコロノ器品又當時埋レテ世ニ出サルモノヲ集メテ附録一巻トナス

一 先ニ京師ノ村井氏万國ノ古陶ヲ選窮ストイヘ圧果サスシテ歿ス予村井氏ニ面セサレトモ其遺物若干ト新ニ見出ス物傳來ノ品トヲ以テ識監スルニ必極ムル事カタシ只器物ヲ見定メ其国々ノ大概ヲ書ス研究ハ後哲ニユツル

一 本邦国々ノ陶器ニ外国モノ入交ルト呑スルハ其国々ヨリ入交リ來ルト云ニハアラスヨク似タル品ヲ其国々ノ品ト見誤リ來ルト云事ニテ藥タチ姿ナトノ似タルヲ以テ

国立国会図書館　タイトル『陶器考』　請求記号 842-43
ガラス使用

本邦ノ物ニ混シアルヲ見分テ書タル也又クギボリ。フユカシ。ハン子ラ等ハ呂宋国ノ内分ト覚ユレトモ決テ云カタケレハ窯ノ名トシテ出ス　本邦外国トモ器物ノ出所多端ナレハモレタルモ又多カランヲカ杜撰ヲ咎メス幸ニ改正ヲ加タマハン事ヲ希フ而已

安政二年夏五月　梅軒誌

陶器考附録

山城

○樂焼

初メ京焼ト云京ニテ焼物ノ始ナル故也千利休朝鮮ヨリ来レル飴爺ニ命シ其子朝二郎ニ焼シムルニ初ル聚樂ノ朱土ヲ以テ焼ユヘニ樂焼ト云傳諸書ニクハシケレハ畧ス朱土ハ一入ニテ切タリ

○光悦　本阿弥氏

鷹峰窯　ノンコ窯　瀬戸窯　萩窯　加賀窯

右ノ所々ヘ形ヲ遣シテ焼シムトナリ自作ハ樂ハカリナリ

一瀬戸光悦　黄茱　一膳所光悦　黒金ケ藥　黄土

一萩光悦　白土白藥　此分見出ス

○空中　本阿彌光悦男法眼ニ除ス光甫ト云自陶器ヲ作ル

国立国会図書館　タイトル『陶器考』　請求記号 842-43
ガラス使用

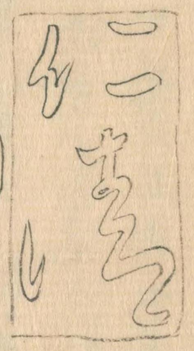
世上知サル分左ニ記　一肩衝茶入肩ニ細キスヂ數ニ有水苔一面ニ吹地苔シブ上苔淺黄

一萩写茶盌白鼠土鼠苔　一志野写同同土同苔

○乾山　尾形氏名真省尚古ト号ス陶器ヲ製スルハ世ノ知所西洋ノ風ナトレリ極彩色モノ、肉ニアテカワ出來ノ火入フタ方キ鉢皿ルイニ乾山ノ名ヲ焼付タルモノ多シ

○仁清　野村氏仁和寺村清右衛門子清兵衛ト云若年ノセツ土佐松尾ノ村ヘ預ケラレ同所ニテ松柏ニ陶ヲ学フ京ニ帰リテヤキモノヲ以テ業トス御菩薩池ノ土ヲ用ヒ作ル清水サン子坂西側ノ窯ニテ焼今ニ仁清カテト云ミソロ土ヲ用タルヲ仁清ミソロヤキト云金森宗和ニ印ヲサツカリ茶器ヲ作ル一説ニ仁清ハ栗田ノ九右エ門子トイヘトモ證ナシ御室御所ノ御用ニテ御室山ノ土ヲ焼モノヲ御室焼ト云マク印ト云モノマクニアラス大内山ノ御室山ノ名ノ内ノ字ヲ仁ノ字ニカウムラセタルナリ

信樂写火入底ニ如此



一清閑寺ヤキ印　一岩倉ヤキ印　一御室ヤキ印　此外數多有之畧ス

○御菩薩焼
御ソロヤキハ仁清時代ニテ作ハ違ヘリ仁清ミソロ池ノ土ニテヤキタルヲミソロヤキト云ニ混ミタルナリ

○栗田焼　元和寛永ノ頃九右衛門ト云モノ專ラ西洋風ノ焼物ヲヤク是栗田焼ノ初ト云其比ノ土取道ヲ今九右衛門

国立国会図書館　タイトル『陶器考』　請求記号 842-43
ガラス使用

ノ図子ト云錦光山宝山帯山東山ナト云ハカマノ名ニテ焼人ノ名ニアラス

一 百五十年前采石山ト云者アリヨク高ライモノヲ写ス

栄石山ノ印アリ無印ノモノハ高ライニ見マカヘリ

○ 木米　木屋佐兵衛粟田陶工ノ内

元陶工ニ非ス書ヲヨクシ又画ニヨシ大坂ニアソンテ清人朱笠亭ノ陶説ヲ見テ初テ陶ニ志シ頴川（コイセン）ト云人ニ付テ陶法ヲ学ヒ寝食ヲ忘レテ唐土ノ釉（クスリ）法ヲ得テツイニ青花白地（染付ノ丁）及ヒ青瓷ノ法ヲ極メ陶説ヲ印刻シテ此ヲヒロムコユニオイテ　本邦染付青瓷ノ製唐土ニスクレ初テ盛ニナル実ニ木米ノ功ナリ先ニ五郎太夫青花白地ヲ傳ヘ乾山仁清西洋ノ風ヲ写トイヘトモ或薬ツヤウスク薬ノ法ソナワラス又釉法ヲ後ニ傳ヘス其意名ヲ取ニアリテ廣ク国益ヲ大ニスルハ木米一人ナリ然レトモ名印ヲ用ユルヿ遅クイタツラニ贋物師トナリシハ可惜ナリ

○ 清水焼　慶長頃ヨリ焼初ム西洋及南蛮ノ風ヲ写ス

○ 清閑寺焼ト云モノハ歌中山清閑寺ノ僧焼タル由サレトモ聢トシタル證ナシ

○ 清兵衛　海老清ト云

清水ニテ茶具ヲ焼タル初ナリ頴川六兵衛ラ此人ニ陶法ヲ学フ

○ 頴川（コイセン）　大黒町五條ノ南ニ住ス

陶工ニアラス好ンテ陶ヲナス海老清ニ陶法ヲ学ヒ能唐物ヲ写ス印ナシ赤薬ニテ名又花押ヲ焼付タル物アリ木米道八亀助嘉助ノ徒此人ニ陶法ヲ学フ攝州三田ノ青瓷窯始ルトキ

国立国会図書館　タイトル『陶器考』　請求記号 842-43
ガラス使用

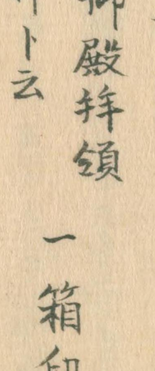
亀助ヲツカハシテ教シム初メ木米ユカン支ヲ乞諏川冝ス
シテ亀助ヲツカハス因テ曰木米ハ巧作衆ニ秀ツ行シメハ
三田ノ青瓷古器ニテキレント後果シテ涂肖青瓷ノ製ヲ極メ
本邦ノ涂肖青瓷唐方ニ勝ルノ法ヲ開ケリ名人ノ先見タカハ
サルヿ知ヘシ

○

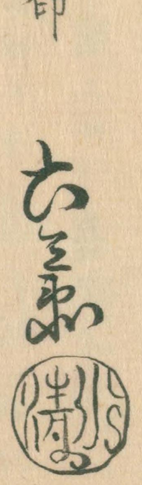
六兵衛　愚斎ト号ス

初海老清ニ陶ヲ学ヒ後信樂ニテモ陶ヲ習フ六ノ字アルモノハ内ニ
信樂山來アリ六兵衛ハ土学ニ委シ信樂ノ土最モヨキユヘ常
ニ是ヲ用ユ天竜寺ノ桂州印ヲサツクト夫ヨリ印ヲ用ユ千玄室
ヨリモ印ヲサツクトナシ

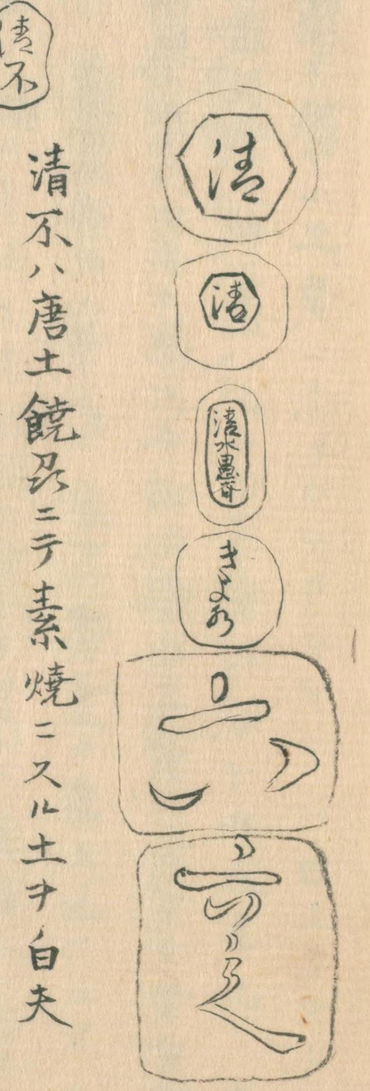
大佛御殿拝領
大佛印ト云



一箱印



印



○

遠州時代陶工ニアラサル京住茶入作人

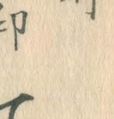
一　新兵衛　三条高倉住唐物屋糸割符有来氏
　窯印

一　光存　中田川善兵衛
　窯印

是ハ光ノ字ヲ松葉ニ崩シタルニ

一　正意　室川四条南住医師

清不ハ唐土饒ニテ素焼ニスル土ヲ白夫ト云白不ニ習テ清水土ヲ清不ト書シナリ



一宗伯　窯印　○

一茂右衛門　窯印

一吉兵衛　一源十郎　一万右衛門　コノ三人窯印ナシ

万右衛門ノ茶入ニスグレタル有テ遠呂志落穂ト銘セラル　万右衛門ニ名物ハ是一ツナリ世上ニ万右エ門カ作ハスヘテ落穂ト号ス唐モノナ写ス堅ヘラ有テ厚作ナル方ナリウス作ノモノニ万右エ門ト云来ルハ呂宋出来ナリ

大和

○赤膚焼　遠呂志姫七窯ノ内　一本書ニ出ス

一遠呂志比代ハ赤ハタ山ノ池土ナ以テ造ル土黄ニシテコマカナリ竟山峡再興ノ比ハ赤ハタヨリ半里程隔ナル五条山ノ土ナ以テ造ラセラル土黄ニ赤キフアリテアラシ白土モアリ

尾張

○瀬戸　瀬戸村ハ三千石余ノ地ニテ村中陶ナ免セラル、所ナリ

一瀬戸ノ陶器加藤四郎右衛門正信法名春慶唐建安ノ天目山ノ陶法ナユ夫シテ茶カ、リノモノナ焼始ムロ禿(ハケ)ノ手ト云コレ日本薬カ、リノ初ナリ後正信宋国ニ渡リテ建安ノ天目山ノ陶法ナ傳テ帰ル梅ト椿ノ灰ナ用テ茶ニマシユ椿手ト云ハ椿ノ灰ナ用タル焼モノナリ

正信入宋ノコナ按スルニ一説ニ将軍実朝卿茶ナヨク養フ茶壷ナ焼モノナ尋玉フ尾張ノ加藤某コレナ兼テ臣加藤四郎右衛門ユ夫シテ焼テ奉ル東鑑ニ建保二年四月栄西宋ヨリ帰ル茶一盞ナ奉ル茶書一巻相添ルトアリ一説ニ四郎右衛門道元禅師ニ随テ入宋スト云々又頼山陽カ陶説ノ序

国立国会図書館　タイトル『陶器考』　請求記号 842-43

ガラス使用

二八足利氏ノ時瀬戸ノ四郎建釉ヲ擬シテ成スト云三説齟齬ス頼氏ノ説ハ時代千カヒニテ杜撰ナリ余ノ二説ノ異同ヲ変スルヿ能ハス識者ノ是正ヲ乞道元入宋ノ日ハ實朝将軍逝去ヨリ五年ノ後ナリ

一 茶入類諸書ニ委シ其余諸焼物世人知ル所ナレハ是ヲ省ク

一 瀬戸窯志野焼

志野宗信物數奇ニテ呂宋白藥ノ沓鉢ヲ茶碗トス是ヨリ志野茶碗ノ名出ツ後今井宗久ヘ傳ハリシ由名物記ニ唐物ト有ユノ茶碗ノ出来振ヲ尾ニテ字タルヲヲ志野焼ト云呂宋安南モノニ志野ニヨク似タル物アリ土藥ヲヨクヽ見分ヘシ志野トモ織部トモ画唐津トモ見分カタキ品又志野織部ト云来ル中ニアリ

一 同窯織部焼

古田織部正呂宋ノ黒藥沓鉢ヲ形ニシテ尾ニテ字サセ画ハ小児ニカヽセシト云故ニ画様何トモ見分カタシ唐津ニモ織部好ノ焼物有又呂宋織部安南織部ト云ヘキ品アリシカレヒ呂宋出来ハ偽物安南出来ハ玄賓ヤキナトヽ云アヤマリ来ル

一 瀬戸黒織部黒ト云来ル二品ヲ尾州ニテハ引出シ黒ト云焼カケシヲニテ取出ス故ナリヤキスキル時ハ赤キ色ニ変スル故ナリ

一 伯盃 俗ニ黄瀬戸ノ伯庵トテ素谷伯庵作ト云ハ非ナリ伯盃ハ唐ノ時代紀年越州ノ作ニテ黄瓷(クワウジ)掻(ハケ)ト云函谷関ヨリ東ニテ伯(ハク)盃(カイ)ト云盃ハ盃也ト陶説ニ出曽谷伯庵唐物ノ伯盃ヲ所持スルニ混シテ黄セトノ伯庵トヽ云ヒ間ヲカヒタルナリモ千ロン瀬戸ニテモ此形ヲ写タル成ヘシ本物ハ大家ニ藏メテ見ルヿナラサル故本物ヲ見ル人少ナキ故也瀬戸出来ハ伯盃写黄セトヽ云テヨロシ

国立国会図書館　タイトル『陶器考』　請求記号 842-43
ガラス使用

一 黄瀬戸物ノ内藥ツヤヨク音カタクヨユレ付又モノニ福州。安南。呂宋ノモノ入交ル唐方ハ白土クコマカナリ瀬戸ハ土アラク和カシ

一 同堀ノ手ノユカミテ出来タルハ黄瀬戸ト云丸ク出来タルハ黄唐津トイフ両品ヒ呂宋フユカン窯黄土モノヽ入交タルナリ

一 織部茶入茶盌香合ナト瀬戸窯ト唐津窯呂宋安南朝鮮尹部丹波ノ出来モノアリヨクノヽ眼ヲツクヘシ

一 瀬戸金気茶水指茶碗其外ニ丹波。志戸呂。アガ野。膳所。赤ハタ呂宋出来ノモノ入交ル

一 渋紙藥ノモノニ安南渋藥ノモノ入交ル

○ 玄賓焼

玄ヒンハ陳氏既白ト号ス書画ヲ能ス明末ノ人也朱舜水ト共ニ乱ヲ避テ来ル舜水ハ　水戸公既白ハ　尾張公ヘ御預リ尾及公ノ御客分ニテ陶工ニ非ス玄賓手ツカラ茶碗百ヲヤキテ名古屋ノ本願寺ヘ奉納セシ内一ツ得タルヲミルニ志乃茶黒画尾張土ニテ古清水ナランナト云来ル品也コノ手ト堀ノ手ニ似タル品アリ堀ノ手ハ高臺ヲアトニテ付タル物是ナリ玄ヒンハ黄藥イヒツナリノ高臺ジンジヤウナル作フリノ方ナリイマ玄ヒントイフ白茶藍画ノ品ハ安南ノ上手モノナリ

○ 常滑（トコナベ）　尾張知多郡

窯古シ南蛮物ヲ写ス土中ヨリ堀出スモノハ藥ナク行基焼ナリ中古ヨリ藥カヽリアリ世人知ル所ナレハ省ク

近江

○ 比良焼

素焼ニ鉄フンニテ画ル皿香合猪口平茶碗ナトアリ浅黄色

国立国会図書館　タイトル『陶器考』　請求記号 842-43
ガラス使用

ノ水苧カヽルシフニテ竹ノ画ナカキタル茶入アリ作振仁清ニヨク似テ音至カタク土ウス赤キ土ナリ

印 比良 比良

○ ○

瀬田焼　未タ其品ナ見ズ

膳所焼　遠州好七窯ノ内

薄作ニテ器用ナリ遠州好ト尚光悦好トアリ

一 土黄○薄赤○白　一 藥黒○金気

一 丹波アカノ武ハ呂宋ノ作モノニ膳所焼トヨク見テカウ物アリヨクノヽ見分ヘシ膳所山来ハ一向スクナシ

一 六七十年前梅林ノ印ナ用ヒテ焼タルモノアリ香合火入鉢皿ルイ花生ナトアリ見出ス分

一 鴨香合 梅林印 蓋茶土白　一 耳付小花生 同印 金ケ茶

○信樂焼

窯古シ南蛮風ナ字ス諸焼物世人ヨク知ヲナレハ省ク

一 紹鷗信樂ト云来ル内薄作ノモノ武ハ利休信樂遠州切形コシ土ト云キタル中ニモフユカン窯黄土ノモノ入交ル

一 色繪彩色モノハ古清水ト云来ルイフコレ新兵衛ニアラス伊賀

一 瀬戸藥ナ用タル茶入茶碗水指アリ

一 紹鷗時代ノ青茶丸茶碗有

一 新ノ字ナ彫タル茶入ナ新兵衛ト云ノ新ニ即カ信樂土ナ用テヤキタルナリ

一 近来ノ焼ニ似秋ニ似タルモノヲ萩ト云ヒウス作ノ物ナ仁清無印ト云浅黄茶ノ朝鮮ニ似タルモノヲ御本ト見テカヒ来ル也唐津ニ似ルモノモアリ

国立国会図書館　タイトル『陶器考』　請求記号 842-43
ガラス使用

伊賀

一伊賀燒ハ呂宋及南蛮国々ノ風ヲ写ス緒燒物世人是ヲ知ル

一新次郎作ノ茶入ハ新ノ字ト新二郎ノ彫名有世人新ノ字アルヲ新兵衛作ト云誤レリ

一同人作ノ茶碗浅黄茶ニ高臺内白茶茶又ハ惣浅黄茶ニテ小クワンニウ上作ナリ世人コレヲ萩ノ高麗左衛門ト見違来ル

一呂宋フユカン窯ノ雨モレ堅手伊賀ノコゲ茶ノモノトヨク似メリ見分ヘシ

一同手ノ御所丸沓ヲ伊賀沓ト云ヨク似タル故ナリ

一コシヒト云モノニ呂宋モノ多シヒコマカニシテツヤツヨク音カタキモノ是ナリ

一伊賀ト呂宋トノ違ハ小クワンニウニテ音ヤワラカニシテツヤウスシ呂宋ハクワンニウアラク音カタクツヤツヨシ

伊勢

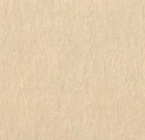
○安東燒

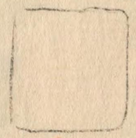
西洋風ノ燒物ナリ鉢皿類アリ安東ノ印アリ

○萬古燒

万古燒ハ来名ノ豪家ニテ寸方奇ト云原叟宗佐ノ門人ニテ陶工ニアラス初メ樂ヤ燒後西洋及交趾ヲ写ス茶碗香合鉢皿類色々有

印





一後万古ハ有節ト号ス有節ヲ古文字ニ書タル印又〔　〕ノ中ニ萬古ノ印ナリ

駿河

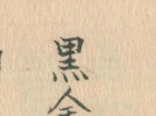
○賤機焼　交趾ヶ字ス萌黄薬白土賤機ノ印アリ

遠江

○志戸呂焼　遠州好七窯ノ内

一嶋物ト瀬戸ヶ字ス薄作ナリ呂宋ノ作振ヶ字スモノモアリ上作ノ茶入ハ丹波ニ成テアリ

一土黄○白○薄赤○砂利　一薬黒薬ニ黄ト浅黄ノウノ毛○黒金気○柳○黒鼠○萌黄○黒鼠ニ黄ノ胡麻茶出ル

一極古キ物ハ黒鼠ニ黄ノ胡麻茶砂利土ニテ少シ厚作ユヘ古唐津ト云来ル赤土モアリ下作ノ ノ小徳利  ノ茶入ホアリ

一黒金気薬ノ茶碗高タイニ印中弁シカタニ遠州時代ヨリヨホト古シ ノ印ヶ有シタルアリ

○磐城焼　奥州

糸切

黄土
黄柿交リ薬

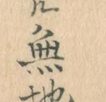
右茶入ヶ見出ス志戸呂焼ニ似タリ

○會津焼

一白薬藍繪白土ノ茶碗水指ナト有安南ノ風ヶ写ス新古アリ土相馬ニ似ル

○相馬焼

一馬ノ画アル茶碗其外アリ世人スコレヶシル

一瓜形ト唱ユル  形ノ浅黄茶ト浅黄ニ黒ノ胡麻薬出タル無地茶碗アリ浅黄薬ハ朝鮮ノヤウナリ瓜形ト云ハウツムクレハ馬ノ瓜ニ似ルヤウニ作リタル也

国立国会図書館　タイトル『陶器考』　請求記号 842-43
ガラス使用

○九谷焼　遠州時代

後藤才次郎ト云者大聖寺侯ノ命ヲウケテ對州ヘ下リ陶器ヲ習フ加賀ニ皈テ九谷ト云山ニテ焼ユヘニ九谷焼ト云

一彩色物ハ唐人此地ヘ渡リ来リテ教ユト云是日本彩色窯ノ初也

一諸陶器世ノ知トコロナレハ此ヲ省ク

一茶入柳藥銀梨子地黒藥本糸切鼠土呂宋ノエフコ土ニ似ル

一織部形白鼠土砂交リニ萠黄藥底ニ九ノ字アル茶入アリ

○大樋焼　○浅野焼

右樂焼ナリ世人知ル所ナレハ省ク

佐渡焼

一紫土金気藥ノ音カタキ茶碗アリ近來ノ物ナリ又佐州金太郎作トホリタル塩カラ入様ノモノヲ見ル

美作

○勝山焼

勝山ノ地ヲ暘ト云由元録ニロノ領主三浦哲翁陶工ヲ城中ニ召シテ茶具ヲ焼シム自作ノ物モ有由七八十年前迫城下ニ陶工有リ今ハ絶タルト云或曰暘ハ勝山ノ城名也ト

一黒藥小肩衝

形

底ニ文字

丹波焼

本書ニ出スユヘ畧之

一渋藥ノ内ニ安南渋茶ノ品入交ル

一渋ト黄交リ又ハ下々茶渋ニ上茶黄カ、リタル安南モノヲ古丹波ト

国立国会図書館　タイトル『陶器考』　請求記号 842-43
ガラス使用

ト見違キタル

一 呂宋物又ハ刷毛目類ノ丼波ニヨク似タル出來振ノ物丼波ト云來ル

攝津

○ 高原焼

朝鮮及西洋ヤ写ス土色黄ニシテ堅シ一説ニ山城黒谷ノ土ヲ用ヒテ高原ニテ焼ト云砂沸本繪沸本呉器半使ノ類ヲ写ス砂沸本写ハ青キ砂ノ処茶ニテ砂ノ如クユニラヘテアリ故ニ土ノ処ハ砂ナシ土ツヤナシ見出ス分 松竹梅茶砂 砂沸本写 沸本写 呉器写

○ 難波焼 延宝ノ頃ヨリ焼ト云土色赤シ 難波 ノ印アリ

○ 高津焼 同時代 未タ之ヲ見ス

○ 古曽部焼 遠州好七窯之内

元雑器ヲ焼遠州茶具ヲ焼シム

遠州印 古曽部 後印

○ 三田焼

青瓷ヲ重ニヤク其余諸焼物色々アリ世ノ知ル所ナレハ是ヲ省ク

播磨

○ 明石焼 西洋風ノ焼物十リ 明○柳枝ナトノ印アリ

土佐

○ 尾戸焼 遠州時代

松尾戸村松柏ト云モノ陶スル処松柏焼ト云又尾土焼ト云西洋凡ヲ習ヘリ作フリ仁清ノ師ナレハナリ

一 黄土○白土○薄赤土ニテ茶ニクワンニウナシ

一 後焼ノモノハ赤土モアリ雑器ハ瀬戸ノ印アルモノハ近來ノモノ也 瀬戸ニ似ル又安南ニモ似ル尾

国立国会図書館　タイトル『陶器考』　請求記号 842-43

ガラス使用

讃岐

○高松焼　利兵衛ト云モノ仁清ニ陶法ヲ習フコレヲ利兵衛焼ト云作振仁清ニ似テ厚シ安南ヲ写タル茶碗朝鮮ヲ写タル茶碗ナト有

一白土○薄赤○黄　一藥白○浅黄

一啜斎宗守好ノ風炉ノ敷瓦ノ小口ニ◯ヲ押タルト松露ノ香合有作ブリ信樂ニヨク似テ水茶多ク吹タリ

長門

○古萩窯　○松本窯　○深津窯

一萩焼高麗左衛門ニ始ル諸焼物世ノ知ル所ナリ

一又リ土ト称スル内ニ福州白磁入交ル

一萩ハケ目萩三嶋ト云來ル内ニ安南彩吹手ノ三シマハケ目ト舟山島ノモノ入交ル

一松本萩ノ内ニ白土ノ至テヨキ二茶二薄萌黄色マシリ又シワ吹タルハ呂宋白磁入交ル同シ内ニ丹波出來ノ黄土ノモノ入交ル

一古萩窯ト云内ニ雲州焼入交ル

一深津窯ト云内ニ無地雲鶴ト呂宋モノ入交ル

一赤土白藥ノモノニ安南彩吹手モノ東京モノ入交ル

備前

一備前焼南蛮ヲ写ス窯古シ尹部村ニ窯アリテ備前一国ノ陶器カマ印ヲ付テ持來リ焼ヿ三十日火気ヲサマスヿ三十日ノ後窯ヲヒラクト云尹部ト云備前ト云來ルモノアレトモスヘテ備前焼ナリ只出來フリニテ云ノミ

一尹部ノ内ニ大壷ナトノ中ヘ入テ焼タル茶カヽリノ上作モノハ世人是ヲ高取ト云上作ニテ高取ニ見違タルナリ高取ハ土赤ク只火

国立国会図書館　タイトル『陶器考』　請求記号 842-43
ガラス使用

ヲウケタルハカリ備前ハ紫土ニシブヲ塗タル如ク金気ヲ吹出ス
茶ハ濃キ萠黄藥ニテ高取トヨク似タリ糸切ニ習アリ此手ノ茶
入ト瓢形。擂盆形水指アリ高取ト云來ル此外ノモノハ朝鮮唐津。
高取。丹波。サツマナトニ見違キタル

一 水指茶入鉢方六ナトニ呂宋フユカン窯ノモノ混スカマ印モアリ
土カタク胡麻茶マタハ黄黒ノ茶鉄気ヲ吹出シタルハフユカン也

筑前

○ 高取燒　遠州好七窯ノ内

一 高取燒初代六藏八藏ト云二人豊前上野渡唐氏ニ陶ヲ習フ
遠州コノ二人ニ茶具ヲ燒シム

一 土紫。黄。赤。白

一 藥金気。青。白。柳。萠黄。黒鼠

一 諸燒物世人是ヲ知ル古高取ト云内ニ南蛮モノ入交ル新燒
ニハ筑後柳川燒入交ル

一 高取ノ外筑前燒ト称スルモノ多シ

豊前

○ 上野燒　同レ前

上野ハ日用ノ雜器ヲ燒キタル唐人コノ所ニテ茶具ヲ燒コレ
ヲ渡左衛門ト云初メ八代ニテ燒後コノ所ヘ來ル也子孫渡唐
ヲ氏トシ豊前小倉侯ニ仕ヘ今ニ渡唐五左衛門ト云テ燒物ヲナス

一 遠州茶具ヲ渡唐氏ニ燒シム

一 茶入ハ丹波ト高取ト瀬（膳）所トノ間ノ出來ナリ

一 作振高取ニ似土ハ黄ニシテ糸切右也藥ハ膳所ニ似テジヤカツ出ル

一 茶碗ハ安南風ヲ主トス水指ハ瀬戸ヲ主トス

国立国会図書館　タイトル『陶器考』　請求記号 842-43
ガラス使用

一茶碗ノ高臺内ハ心ノロクロ目アリ

見出ス分

一金気藥耳付茶入　一金気黒六父茶耳付茶入　一同尻張茶入

一玉子色茶碗　一白茶渋画安南写茶盌　一三嶋写茶碗

一堅手写同　一瀬戸写一重口水指

肥前

○伊万里　俗今利ト書

イマリ焼山田五郎大夫ニ始コノ以前　本邦ニ染付ノ製ナシ

五郎大夫ハ伊勢松坂ノ人ナリ明国ニ渡リテ呉州ニテ焼モノヲ

習フ青花白地（染付本名）ノノ法ヲ傳ヘテ帰ル（五郎大夫呉祥瑞造）ノ字アル物

呉ニテ焼トコロ也桂林漫録ニ明ノ正徳八年（日本永正十年足利義植公ノ時ニアタル）

五郎大夫　日本ニ皈ル時明ノ李春亭ノ送別ノ詩アリ又コノ時

隣（六父）徽書ニモ出ル

送居士五郎大夫皈日本　李春亭

敬持玉帛観天顔　回首扶桑杳渺間

舩泊古鄞三佛地　抔傳新酒四明山

梅黄細雨江頭別　帆引清風海上還

明到賢王應有問　八方職貢溢朝班

右本書伊勢山田神宮寺ニ蔵ス

是ニ因テミレハ遠州ノ命ヲウケテ明ニ入ト云傳フルハ恐ラクハ附

會ノ説ナラン五郎大夫皈朝ノ后火候ヲ驗スルニ伊万里ノ近所

ナル有田皿山ノ地火候烈ニシテ染付ニ合ヲ以テ同所ニテ焼物ヲ

始ムト云皿山ニテ焼モノハ白藥藍画ニクワンニウ有呉スノヤ

ウニテ土和カ也古今利又古祥瑞ト云品ニテ在名ノ物ト画様

国立国会図書館　タイトル『陶器考』　請求記号 842-43
ガラス使用

相似タリ今利ニテ焼タルモノニ名ヲ入ザルハ　李邦ノ白石
和カニシテ唐土ノ如クアラス年數タテハ古ビテアレクナル
支ヲ見計リタリトミユ故ニ名ヲ書セス。冥ニテ造物ハカリ
名ヲ書シテ後ニワタフルノミ

一　諸焼物世ニ知ル所也

一　金銀五彩ノモノニアマカハ渡リノ

一　白今利同深肩ホノ内ニ唐饒州ノモノ入交ル

〇　唐津焼　一本書ニ出ス

一　唐津ニ入交リタル外國モノ、分

唐　ト、ヤ　福云舟山ノ諸焼物下手ノ分

安南（白茶黒画）ノモノ　彩吹手下手物　織部（香合茶碗鉢皿水指其外）　堅手

玉子手下手物　繪堅手　渋茶　渋紙子　黄茶ノモノ等

呂宋　フユカン窯（青茶　黒茶　渋茶　金気茶　紫茶　浅黄茶）茶入　香合　茶碗　鉢皿　猪口等

同窯　青磁水指　茶碗　香合　其外（珠光青磁ト云来ル品ナリ）

真壺窯　右同断　クギホリ窯　右同断　ハンコ子ウ窯　右同断（茶カラ素ヤキ）

ハンコ子ウ。フユカン。クキホリ。等ノ名呂宋国ノ内分ト覚ユレトモ
交テ云カタケレハ窯ノ名トシテ出ス

朝鮮　奥高麗　朝鮮陶（カラツ）　金海堅手下手物

印度　青茶茶碗　香合鉢皿　汗口猪口　茶入　其外（青井戸トイヒ来ル品ニハアラス青井戸ハ印度青磁也）

右コレ迫スヘテ唐津ト云来ル　アマカハ茶入茶碗鉢皿香合其外

〇　推（テイ）ケ峰焼　新窯

一　三島ハケ月ナトアリ作フリ朝鮮ニ似ル世人唐津ト云来ル

〇　嬉野焼　一深肩モノ也今利ニ混シテアルヘシ未タ證ヲ得ス

国立国会図書館　タイトル『陶器考』　請求記号 842-43
ガラス使用

○太郎（タウ）焼

唐津ト丹波トノ間ノ出来也ウス赤土ノ和カナルニ渋薬ノ上ヘ黒茶ヲカケジヤカツモ出タリ上茶ノ黒茶ハハゼテ一面ニ水玉ノ如クナル水指ト小皿ヲ見出ス南蛮物ニヨク似タリ

○平戸焼

唐津ト云来ル内ニアリ白土鼠茶ノ小クワンニウニテ井戸ニ似タル茶也塩笥形水指建水茶碗茶入等モアリ是ニ元ツキテ見分ヘシ泊（今）ハ白高麗ノヤウナルモノヲヤク

一 肥前国ノ陶器數ケ所アリスヘテ肥前焼ト云来ル

肥後

○八代焼

八代焼細川三斎侯ノ頃ヨリ初ル外国人来リテ焼初ル外国三斎侯豊前上野ノ陶者ヲ召シテ習ハシム此八代焼ノ始也（今ニ上野ヲ氏トスル陶工アル由）其頃肥後ノ士（ヨ）津リ唐人此地ニテ焼タル切タメニツ水指一ツヲ送ル状文ノカケ物ヲ見タルヿアリ

一 渡左衛門ト彫タル八代焼茶碗アリ

一 諸焼物ヨク呂宋物ニ似タリ八代焼ト云来ル中ニ呂宋フユカン窯ノモノ入交ル

一 土紫土砂交。黄。赤土砂交リ。鼠土

一 藥黒。白。萌黄。青。茶。鼠

一 肥後國中陶スル所多シスヘテ肥後焼ト云

薩摩

一 薩摩焼年古シ同国唐人町トテ朝鮮人ノ末一ト所ニ居テ惣髪ニテ焼物ヲ業トス

国立国会図書館　タイトル『陶器考』　請求記号 842-43
ガラス使用

一 椀右衛門焼 白土白茶黒ナタレ 石州疾箱ニ入
小クワンニウ
右茶入ヲ得タリ此手ノ茶入遠州箱ノ品上京ノ道正菴所蔵ス

一 仲次窯 同所ニ藏スル由未タ此手ヲ得ス

一 金繪物色絵モノ、内ニアテカワ渡リノモノ入交ル

一 茶入ノ下作ナル内ニ毛部出来ノ青黒キ茶ノモノ入交ル

一 薩摩 斗々屋ト云来ル物ハ新焼ノ斗々、ヤニテ琉珠人唐ト交易シテサツマヘ入リ来ル品ナリト云

一 古薩摩ト云来ル紫土青茶ニ黄ノ流レタル平茶碗アリコレ安南ノスヽリ天目入交リタルナリ

一 其余諸焼物世ニ知ル所ナレハ此ヲ省ク

○日向焼 ○豊前焼 ○豊後焼

右遠州ノ文ニミユレ共未タ證ヲ得ス

筑後

○久留米 柳原焼 中古ノ窯

小キ柳原ノ印アリ西洋南蛮ヲ写ス

一 七八十年昭代ノ雲鶴写水指ニ汲露菴宗茶作ノ印有モノアリ是ハ久留米産ノ茶道ナリ

○同 星野焼 同

江戸ニテ久留米産ヨリ拝領シタル金気茶砂交リ赤土瀬戸写ノ水指ヲ見ル其余未タ見出サス

對馬

一 朝鮮ノ風ヲ写ス遠ク時代ノ作人上手七人

茂三 玄悦 小道二 小道三 弥平太 太平 徳李

一 茂三重モニ朝鮮ヲ模ス玄悦ハ朝鮮ト呂宋ヲ写ス小道二小道三

国立国会図書館 タイトル『陶器考』 請求記号 842-43
ガラス使用

ハ安南舟山ヲ主トス弥平太ハ熊川（コモカヘ）○咸鏡道朝鮮ノ東北ノ海道ニテハミキヤンタイト訓ス本邦ニテカントウト云来ル熊川ノ上手ナリノ風ヲ焼余ノ二人ハ来タシラス右イツレモ重ニヤクモノヲアグルノミ一概ニ是ニカキルニアラス作フリニテ見分ベシ

一 茂三ト云来ル中ニ雲州 権兵衛ノ作物交ル

一 玄悦イラホト云内ニ呂宋ノイラホ交ル是手本物ト写ト混シタルナリ

一 對州ノ土茶スヘテ朝鮮ニヨク似テ土少シアラク茶ツヤウスシ

一 本邦ノ焼物數所ナレハ悉ク枚擧シカタシ右国々ニテ焼所ノ物茶具ニ用ヒ来レハアラマシヲ擧ク其余洩タルモノ猶多カルヘシ遮幾ハ後来ノ識者ニ附スト云爾

清国ノ康熙年中朱琰カ著セル陶説ノウチ要々ノアラマシヲ抜テコヽニ出ス

○唐時代 官物ヲ焼窯ノ分ヲノス某余雑器カセハ省キタルトミユ

越州 鼎州 婺州 岳州 壽州 洪州 刑州

呉越祕色窯 柴州 内邱窯 大邑窯 建州 則建安天目山ナリ焼所ノ茶碗ヲ兎毛盞トイフ又烏泥盞鷓鴣斑トモイフ本邦ニテ之ヲ天目ト云兎毛ハウノ毛ノ茶ナリ

○宋時代 前ニ同

饒州 定州 京師官窯 哥州 吉州 磁州 汝州

瑪瑙ヲ来ニシ茶ニ用ユ 龍泉窯象州 薫州 均州 呉越祕色窯 山西窯

青冬窯 建州 耀州 耀州ノ陶工一等平底ノ深盌ヲ作ル小海鴎ト号ス 高麗 朝鮮地

大食窯 天竺地大食国洞ヲ以テキジトシ五色ノ茶ヲ用テ之ヲナス瓷石ノヨク及フ所ニアラス名ヅケテ佛郎嵌ト云 本邦ニテ七宝ト云モノニ當ル

○饒（ニヨウ）刀（ジウ）

饒州浮梁縣西兵郷景徳鎮ニアリ

国立国会図書館 タイトル『陶器考』 請求記号 842-43
ガラス使用

宋ノ景德年中ヨリ陶ス青花白地（染付本名）ヲ重ニ燒其余青瓷。黑。白。赤。緑。碧瓷スヤキ至ル迄何ニヨラス燒サルヿナシ宋。元。明代ハ年号ヲ記サズ

○明時代饒州窰

洪武窰　永樂ー　宣德ー　成化ー　正德ー　嘉靖ー　萬曆ー

○造法

一陶土ハ新正都麻倉山ニ出　石末ハ湖田ニ出　釉土ハ新正都ニ出

青花白地通シテ之ヲ用

一珠砂（朱ノ叓）ハ小壺（茶入ノ叓）大盌（呉器斗ニヤ人形手ノ類）ヲ作ル

一釉色（クスリ）ハ豆青。油水（ミツクスリ）。錬灰。黄土ヲ合成ス

一紫金色ハ錐水錬灰紫金石ヲ合成ス

一翠色ハ錬成ノ古銅末水硝石ヲ合成ス

一黄色ハ黑鉛ノ末碾赫石ヲ合成ス

一金緑（緑）色ハ錬過ノ黑鉛ノ末古銅末石末ヲ合成ス

一金青色ハ錬成ノ翠石子青ヲ合成ス

一礬紅色ハ青礬石ヲ用テ紅ヲ錬鉛彩廣膠ヲ用ヒテ合成ス

一澆青ハ釉水錬灰石子青ヲ合成ス

一純白ハ釉水錬灰ヲ合成ス

一堆器ハ筆ヲ以テ白泥ヲ又ル釉水錬灰ヲ加ヘテ燒成ス（是刷毛目ニアタル）

一錐器ハ鉄錐ヲ用テ錐成ス釉水錬灰ヲ加ヘテ燒成ス（是三島ニ當ル）

一印器ハ印ヲ用テ花様ヲ押釉水錬灰ヲ用テ燒成ス（是雲鶴ノ類ニアタル）

○清時代饒州窰

康熙十九年始テ陶ス諸器大小五彩金銀色繪廉器ニ至ルマテアラサル叓ナシ其造法二十條一ニ石ヲトツテ泥ヲ製ス二ニ泥ヲユ

国立国会図書館　タイトル『陶器考』　請求記号 842-43
ガラス使用

ス三ニ灰ヲ子リテ藥ニ合ス釉灰ナケレハナラス青白石ト鳳尾草トヲヤキテ之ヲ製ス其余ハ造ノミニテ陶ユニアラサレハ用ナシ省ク

一 饒州ノ窯カス凡三百余ユ匠人夫ノ數十万ニ下ラス一窯ニ燒トコロ大小千余件一日一夜ヲモツテ候トス

一 白泥之ヲ白不ト云不ハ土也饒州ノ土音(トコロノユトハ)ナリ

一 其余造法明ト同シ只清ニ至テ洋彩一種ヲ增ス洋彩ハ西洋国々ノ風ヲウツスナリ本邦ニテ紅毛人持渡ル処ノ西洋モノ是ナリ

○茶器漢名 今茶ヲ賞スル人茶ハ本邦ノモノニテ唐土ニハナシト思フ人多シ茶法ハ唐土ニハシマリ茶礼ハ本邦ニ起ルナレハ茶器ノ漢名ヲ書シテ之ヲ知シム

運泥炉 土風呂　風炉 銅鉄　鍛鉄炉 鉄風炉　地炉 囲炉　鍑 釜

提釜 手取釜　商象 瓷釜　烏府 炭斗　筥 同　菜篭 同　籃 同

一籯 炭斗　烏楦 同　茈莉 同 イトウシトフモノ　炭撾 火箸　降紅 同　火筴 同

遞火 十能　烏金 炭　烏銀 白炭　支鍑 釜敷　靜沸 同　具列 長板

臺子 本邦同字　局板 小板　員局 丸板　宗從亭 茶羽箒　注子 水指銅

雲屯 水指銅　熟盂 同　水缸 同壷　建水 コホシ　滴器 同　注春 茶入

雲甌 茶入　急須 稀(ウス)茶入　茶盞 茶盌　天目 同　茶盃 同　啜香 天目ノ別号

陶宝文 同上　祕閣 天目臺　納敍 茶タイ　水曹 水ヤ壷(桶)　滌方 同　滓方 茶巾盥

受汚 茶巾　笠副師 茶筌　分盈 柄杓　司職方 帛紗　則 茶杓惣名　玉揭 円象牙

撩雲 茶杓竹　雲策 円木　茶匙 円金銀銅　石轉運 茶臼　茶瓯 茶壷　茗罍 真壷

香盒 香合　瓶 花生　壎 トクリ　馬上盞 馬上盃　懸畫 掛物　巾條 一行物

斗方 一枚モノ　横批 横物　都籃 旅タレス　短檠 張尺　長檠 長八尺

堆紅 鎌倉彫ノ内ニ交ル　推朱　屈輪(グリ) 黒シ紅ノ筋二ツ三ツ　桂漿 紅黒黄浅黄ノ筋

金絲 紅ニシテホリフカク筋多シ　犀皮 金銀泥ヲ地トシ紅漆ニテ紋ヲ画ク紋皮ノユトシ　推漆 堆烏ノ類

堆烏 グリノ類筋ナク彫深シ俗ニ云推黒　筠漿盒 俗ニ金馬ト書

キンマハツルモノ也シヤム国ニ生ス国人キンマノ実。ヒンロウノ実。

国立国会図書館　タイトル『陶器考』　請求記号 842-43
ガラス使用

石灰ヲモリテ客ヘ出ス時用ユル盆ノ名ニテ盆ヰキンマト
云ニハアラス　本邦ノ田葉粉盆ト同ク類ナリ石灰ハ
ヒンロウ子ニ合スレハシブヲ去テ甘クナル故有テ出ス入
モノハ三ツ仕切又ハ三ツ重子ノモノヰ貴フト云

陶器考附録　終

右陶器考本書附録氏書寫之

慶應三丁卯年春夏

三菱堂櫟齋

国立国会図書館　タイトル『陶器考』　請求記号 842-43

ガラス使用

842
43

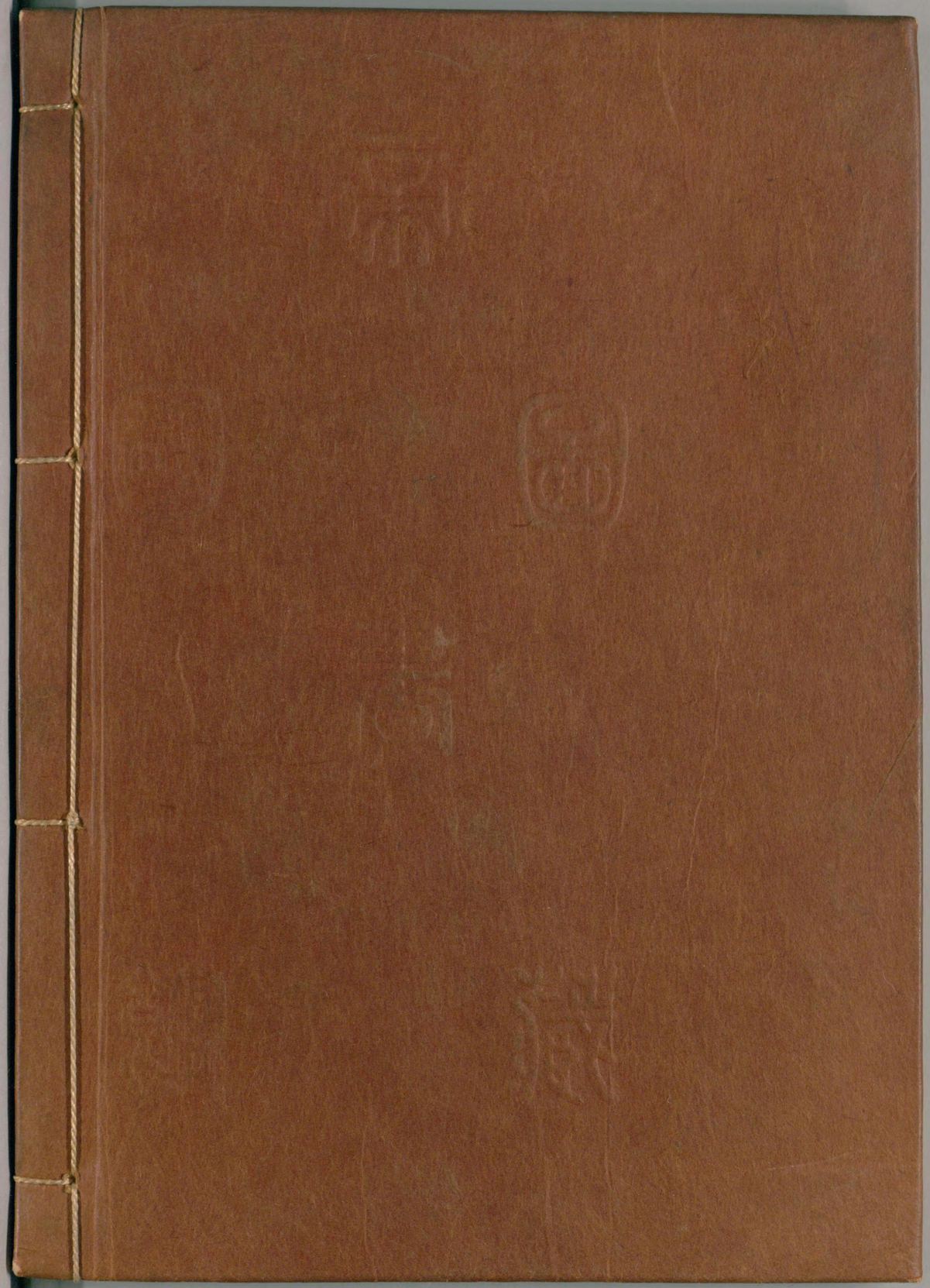
国立国会図書館　タイトル『陶器考』 請求記号 842-43

ガラス使用

842
43

国立国会図書館　タイトル『陶器考』 請求記号 842-43

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『陶器考』　請求記号 842-43

ガラス使用